

I 法人本部

1 基本方針

(1) 経営理念

人が生き生きと楽しい生活を送るお手伝いをする。

(2) 行動指針

経営理念に沿った業務の遂行をして、社会に貢献するとともに、自己を高める。

(3) 行動原則

- ① 福祉事業に携わっているという自覚（使命感や誇り）
- ② 利用者一人ひとりにとっての「生き生きとした楽しい生活」の創意や見極め。
- ③ ①と②を日々フラッシュアップしていく姿勢（向上心や行動力）

(4) 従業員の資格

(1)～(3)に賛同・従事できること。

2 あおい会として

社会福祉法人あおい会の設立が昭和48年、あおい学園が開所されたのが昭和39年と、それぞれ40年、50年を経過しています。和歌山県下では民間社会福祉法人として一番歴史ある法人です。

社会福祉法人として、障害者福祉に貢献してまいりましたが、平成12年社会福祉基礎構造改革が実施されました。

措置制度から、支援費制度、障害者自立支援法、障害者総合支援法と変わったのもこの改革の一環です。

社会福祉基礎構造改革の主課題は3つあります。

- ①社会福祉の量の拡大
- ②次に社会福祉の質の向上
- ③最後は福祉援助を受ける立場の人の権利確保

この課題対策として、今まで社会福祉法人だけに許されていた支援や援助が生協、農協、社団法人（民間企業）も在宅福祉に参入できるようになりました。さらに、NPO法人も福祉サービスを手がけられるようになりました。

質の向上として情報公開、苦情解決、第三者評価等進められ、成年後見制度の導入により、今までは措置であったのが契約制度へと平等な立場となりました。量的には民間企業の参入で拡大されました。しかし、質の向上に繋がっているでしょうか、援助を受ける人の権利は確保されたでしょうか疑問です。それでは社会福祉法人は問題がなかったのかといわれると、残念ではありますが長い措置制度の中に胡坐を搔いてきた法人もあることは確かです。あおい会としましては今まで利用者の方のことを考え、生き生きとした生活が送れるようにお手伝いしてまいりましたが、これからもより以上に生き生きとした生活が送れるようにお手伝いしていきたいと思えます。それに加え今年度は今まで以上に「本人の意思決定支援をお手伝いする」ということを重点にしていきたいと考えています。

- あおい学園建替え。
- 介護事業の推進
- 昨年度も実施いたしましたが、今年度も「顧客満足度調査」ということでアンケートを実施。
- 職員の評価シート作成、提案制度による職員参加を積極的に進める。
- ガバナンス・コンプライアンスの強化